

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

3月号/2014年3月1日発行

■ 2月12日(水)
19:00~

2月新春講演会・通常例会

■会場
ラピータ

講演テーマ 「被災3年目 復興を目指してどう進むいわき市政」
講師 いわき市長 清水敏男氏



【要旨】 皆さん おぼんでございます。

本日は、このような機会を頂きまして誠にありがとうございます。先程、いわき経済同友会さんの“3つの目的”を読みまして感心致しました。私の立場に置き換えますと、1. よいいわき市をつくろう。1. よい市長になろう。1. よい市役所をつくろう。とでもなりませうか？

昨年9月に、多くの市民の皆さんのご支持を頂き第13代いわき市長になりました。現在50歳です。若輩の私に託した皆さんの思いとは、東日本大震災後の復旧復興を一日でも早く進めてほしい、又、過去の2回の市長が1期4年で終わってしまい、ここは暫く腰を据えて頑張ってもらいたいという思いがあったのではないのでしょうか。私の当選した日には、2020年東京オリンピック開催も決まりました。私自身とオリンピックとは、どうもご縁があるようで、私はその年をターゲットイヤーにしたいと考えています。

このターゲットに向け、いわき市を見違えるような市にするために、今、市政の舵取りをしています。就任4ヶ月がすぎました。



左から寺主君男代表幹事、吉田泉さん(2月12日生)、松崎貴弘さん(2月16日生)

毎日分刻みの日程で、昨日は久々に休みが取れそうでしたが、私の政治の恩師であります鴻池祥肇氏のご母様様の通夜に参列するため、兵庫県芦屋市に行って参りまして、殆ど休み無く仕事に精励しております。たった4ヶ月ですが、いろいろな事が起きています。大阪の企業のオーナーが、いわき市の子供達の為に1億円を寄付して頂きました。市長室に秘書の方がコロコロとバックを引いてきて、そのバックの中から1千万円の束を10個テーブルの上に並べました。現金1億円を見たのは初めてでしたので驚きました。経済同友会の皆様、いつでもお待ちしております。

さて、私は現在、選挙公約でもありました「医」「職」「住」に取り組んでいます。

「医」は、皆さんご承知の通り、いわき市の救急医療の現状であります。まず病院に勤務するお医者さんの絶対数が足りない。特に休日、夜間は非常に手薄になっております。これを何とかしなければなりません。幸い、昨年12月25日県立医科大学と提携することができ、今年から2名のお医者さんの増員が決まりました。また現在、産婦人科医を招聘することは、非常に困難を極めています。これが解消し、共立病院の体制の立て直しができれば、里帰り出産も可能になるのではと思っております。そして、救急医療についても、何とか早い内に体制を整えたいと思っております。また、共立病院の建て替え問題も、選挙を通じて話題となりましたが、私は一度も「建て替えるべきでない」とは言っておりません。「もっと市民の声を聴いて、議論してはどうか」と訴えました。当選後、いろいろ調べますと、もう設計はできていて、財源は復興交付金から78億円が組み込まれています。これは平成27年度中に、このお金を使いきらなければいけないのです。最大延ばしても、もう1年つまり28年度中に使わなければなりません。国、県とも折衝を重ねましたが、この78億円をムダにすることはできません。180度、舵を切らせていただきました。2月議会に予算を計上し、6、7月着工の運びとなりました。同じ場所に建設ということで駐車場、騒音の問題等、山積ですが市民の皆さんのご理解を得てやっていくしかないと思っております。

「職」についてですが、現在は復興景気で経済はまわっているようですが、この景気がいつまで続くのかを考えますと、私自身も不安になります。

短期的には、復興で何とか4～5年は乗り切り、中期的には、一般住宅の建築で地域経済の下支えをしていきたいと思っております。津波被災の海岸エリア、高台移転や区画整理が進めば、今度は宅地に住宅を建てようとする人。双葉郡の人々の住宅の建設。会津、郡山に避難している人の住宅の供給。住宅産業は裾野が広いので当然、地域経済の下支えになると思えます。

長期的には、再生可能エネルギー、太陽光、風力

発電等新しい産業を今から起していくことが大切だと思います。私はそれにプラス、蓄電(バッテリー)をいわきの地に集積したいと考えています。いわき市は古河電池さん、ユアサ電池さん、材料をつくっているクレハさん、東洋システムさんなど電池に関わる企業が集積しており、更に関連企業を呼び込むことによって産業都市を目指したいと思えます。

また、“廃炉”ですが、国に対して、今、立ち上がっております廃炉のための国際機構の基地として、いわきに誘致したいと思っております。昨年、東電の発表で勿来発電所、広野火力発電所に一基ずつ最新の火力発電所を増設して頂けることになりました。稼動は2020年です。建設だけで3,000億円の経済波及効果があると言われております。それに従事する作業員が2,000人。実際稼動すれば1,000人の雇用が生まれます。市としては全面的に協力していきたいと思えます。また、経産省に赤羽副大臣を中心に、浜通りの復興のためにどうしたらよいか、国は何をなすべきかという研究会を立ち上げております。福島県副知事、いわき市長として私もメンバーの一人ですが先日、第一回の会議が開催されました。

この“ふくしまイノベーションコースト研究会”は、7月頃までに提言をまとめ、来年度からの国の予算に反映するという国の研究会です。私はこれと連動して“いわき市イノベーションコースト研究会”を立ち上げ、国からの大きな支援を導きたいと思っております。ぜひ、いわき経済同友会の皆さんのご支援、ご鞭撻をお願いしたいと思っております。

復興には、次代を担う子供たちが元気でなくてはいけません。子供たちの支援に関しては、行政がいくつにも分かれ縦割り社会で思うように連携がなされていません。これを一本化し、新年度から“子供子育て支援室”をつくります。27年度からは、新生“子供部”を創設し、いわき市役所の部の一つとし、子供に特化した施策を展開をしていきたいと思えます。原発事故後、福島全体が子育てしにくい町になってしまいました。幸い、いわき市の放射線量は低いのですが、未だに5,000人以上の方が避難しています。新年度の予算より若いご夫婦に対してのいろいろな施策を取り入れたいと思っております。

明るい話題も出て来ております。先程の1億円もそうですが、5月13日グリーンスタジアムにて巨人ーヤクルト公式戦、また、6月21日には“超高速参勤交代”という映画が全国公開されます。湯長谷藩の殿様が活躍する話して、第二のフラガールになる可能性があり皆さん楽しみに待っていてください。秋には小名浜魚市場が完成し、来年3月にはJR常磐線が東京駅乗り入れが決まっております。

私の政治のモットーは“明るく元気ないわきの創造”であります。この具現化に向けて、一生懸命取り組んでまいります。皆様のご支援を重ねてお願い申し上げます。

2月グループ会報告

経済特区研究グループ会

2月度のグループ会は講師等の調整つかず未開催となりました。

まちづくり観光グループ会

■日 時 2月24日(月曜日)18:30～
■場 所 夜明け市場

㈱夜明け市場の立ち上げから、運営管理を取り仕切っている松本取締役の講演会を開催。東北大卒の松本さんが、同級生でもある現代表の鈴木さんと共に、福島県、いわき市の食材を使った居酒屋及びケータリング事業を東京でスタート。その後大震災があり、地元いわき市で炊き出しボランティアを行うことをきっかけに、被災商店の復興などを目的に夜明け市場の構想する。ゼロからのスタートで多くの困難を乗り越え、2011年11月のオープンにこぎつける。初めは2店舗ながら、500万円の借入をベースにわずか半年で実現した行動力には脱帽。現在は11店舗になり、各メディアにも取り上げられ、震災復興の目玉として、各所から多くの人々が来所している。

現在は、様々な企業も応援していただいております、飲食店のみならず、まちづくりを語り合う「場」づくりとして、NPO法人 tatakigage japanも設立。全国的なネットワーク、そして高校生などの若者とのワークショップなどを通じ、将来を展望。

松本さん曰く、「被災地のものを買ってあげて、食べてあげるなど、お涙頂戴の時期は終わった。これからは、福島の食は、美味しい！食べたい！買いたい！にしなくては！そして将来、若者がいわき市にもどり、生き生きと暮らせるまちづくりを目指したい！」と熱く、そして冷静に、事業性を確認しながら語っていた。

参加した私たち会員は、この若者に多くの刺激を受けた。今後も一緒にやれることがあるはず！皆さんにも是非紹介したい人物である。

スポーツ交流グループ会

■日 時 2月15～16日
■場 所 檜原湖畔

会員増強委員会と共催で檜原湖畔においてワカサギ釣り体験会を開催する予定であったが、天候不良による交通機関の乱れ等、会員の安全を考慮し開催を中止とした。尚、参加予定者は9名だった。

資質向上研究グループ会

■日 時 2月22日(土曜日)8:00～
■場 所 茨城県桜川市真壁方面

第11回(2月度) 移動グループ会:茨城県真壁町・筑西市方面の文化財を観る。

今回は、5名にて予定のコースを館氏の車両にて出発。

1. 茨城県桜川市真壁町は、400年前の江戸時代の町割りそのまま受け継がれた街並で、昔のままに残されている建物や路地などを利用し町中でのひな祭りを見学する。

江戸時代より、明治、大正、昭和初期の多くの歴史あるお雛様や蔵や家並みを見学した。

また、ひな祭り会場では真壁高等学校農業科の生徒さん達が、「きなこ」「こんにゃく」など自分たちで作った物産の販売実習を行っていました。

2. 筑西市しもだてに行き、陶芸家板谷波山記念館に行き、作品及び工房を見学。波山は完璧な器形を追求するため、あえて轆轤(ろくろ)師を使っていた。

作品には、青磁、白磁、彩磁(多色を用いた磁器)などがありいずれも造形や色彩に完璧を期した格調の高いもの。

3. しもだて美術館にて、与 勇輝(あたえ ゆうき)人形展を見学。与 勇輝は、1937年に神奈川県川崎市に生まれた。1983年頃より人形制作に専念し、一枚の布から立体へと表情豊かな作品は「布による彫刻」とも称され、創作人形を芸術の域にまで高めた。

清水敏男いわき市長を囲んで懇親会



FMいわき「いわき経済同友会だより」

- 【3月予定放送】
- ・ 3月3日 副代表幹事 安島 浩様
 - ・ 3月10日 " 武藤 真一様
 - ・ 3月17日 " 松崎總一郎様
 - ・ 3月24日 " 長谷川祐一様
 - ・ 3月31日 代表幹事 寺主 君男様

◇毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。
<http://www.simulradio.jp/>

3月のご案内グループ会

- 経済特区研究グループ
3月19日(水) 19:00～ 場所 セレネ(平田町)
まとめグループ会
- まちづくり観光グループ
3月27日(木) 18:30～
場所 和風居酒屋ダイニングKINTA(夜明け市場内)
まとめグループ会
- スポーツ交流グループ
3月20日(木) 場所 和食創作料理 食の蔵
一年間の事業の反省会を含めまとめグループ会
- 資質向上グループ
3月27日(木) 18:30～ イタリアンコート
25年度 まとめグループ会

3月例会

講演会:いわき市生涯学習プラザ 4階
懇親会:いわきワシントンホテル椿山荘

例会 19:00～
講演会 19:30～
懇親会 20:40～

3月13日(水)

いわき市都市建設部 都市計画課 参事兼課長 西原 衡作氏
 テーマ(仮)「小名浜港背後地の開発状況について」

4月定時総会

場所 ウェディング(株)八幡台やまたまや

4月21日(月)

例会 18:30～
講演会 19:00～
懇親会 20:30～

いわき経済同友会 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

- 会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。お問い合わせは下記どうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
 TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
 E-mail:doiyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
 編集 情報委員会 委員長 坂本和久
 副委員長/小野英典・鈴木清友・田村慎太郎
 馬場 学・山崎勇一郎